

新型コロナウイルス蔓延を防ぐための東北大学の対応

新型コロナウイルスによる感染症（COVID-19）が日本も含めて世界各地に広がりにつつある中、高等教育を担い、最先端研究を行う大学においても、被害拡大を防ぎ、公共の安全を確保することが喫緊の課題です。

東北大学では、「新型コロナウイルス感染症対策本部会議」を設置し、構成員である感染症の専門家の見解に基づき、COVID-19 対策として、教職員・学生への感染症予防の注意喚起を行うとともに、一般選抜大学入試への対応、本学主催イベントの縮小、中止または延期など、感染の可能性を最小限にするための措置を実施してきました。また、大学病院では重症患者に対応するため、院内の感染対策を強化しました。さらに、小中学校などの一斉臨時休業に伴って、時差出勤、テレワークなど教職員への柔軟な就業の取り扱いも実行しております。

これからの数週間が、とくに世界的な大規模集団感染を避けるための正念場となります。「社会とともにある」大学として、東北大学は COVID-19 とたたかうために最大限の努力を払います。

令和 2 年 3 月 5 日

東北大学総長 大野 英男